

愛知商工連盟協同組合 創立50周年記念式典

「これからも組合員の期待に応えていく」
(鹿島理事長)



愛知商工連盟協同組合（名古屋市東区矢田、鹿島均理事長、以下愛商連）の創立50周年記念式典が9月17日、名古屋市中区金山のANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で、来賓、関係者ら約200人が出席して盛大に開催された。鹿島理事長は50年の組合の歴史に言及しつつ、節目の年を迎えられたのは「皆さんの尽力の賜物。本当にありがとうございます」と謝意を述べた。



大村秀章愛知県知事

記念式典は同日正午過ぎから始まり、来賓あいさつで、大村秀章愛知県知事が登壇し「50年にわたり総合コンサルタントとして経済活動を通して中小企業に貢献され、感謝とともに敬意を表します。県としても中小企業の皆様のために制度融資など支援をしていますが、地域発展のため（愛商連にも）引き続きご尽力をお願いしたい。本日はおめでとうございます」と祝いの言葉を述べた。

愛商連は、外国人技能実習制度を活用した中小企業支援を続けており、アジアの実習生が愛

知県内で働けるよう努め、グローバルな活動を進めている。この日は駐日インドネシア大使のヘリ・アクマディ氏や金星秀・大韓民国名古屋総領事らも出席して、50周年を祝った。

アクマディ大使は「日本に住むインドネシア人は約10万人で、今後も多くのインドネシア人労働者が日本を主な就職先にすると確信しています。愛知県は主要な派遣先になっています。11月には愛知県で『インドネシア人材マッチングフェア』を開催しますが、県内の中小企業がインドネシア人を適切なパートナーとして受け入れる一助になることを願っています」と人材交流による両国関係強化に期待感を表明した。

金総領事は「愛商連は日本のモノづくりの拠点である愛知県の中小企業で構成され、総合コンサルタントとして組合員に寄り添ってきました。近年は外国人実習生の受け入れに力を入れ、